【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【公開番号】特開2016-131279(P2016-131279A)
【公開日】平成28年7月21日(2016.7.21)
【年通号数】公開・登録公報2016-043
【出願番号】特願2015-4180(P2015-4180)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｈ　9/09　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/02　(2006.01)
Ｈ０３Ｂ　5/32　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　23/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｈ　9/09
Ｈ０３Ｈ　9/02　Ａ
Ｈ０３Ｂ　5/32　Ａ
Ｈ０３Ｂ　5/32　Ｈ
Ｈ０１Ｌ　23/02　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月14日(2017.12.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一対の支持部と、
一対の前記支持部を支持する基板と、
一対の前記支持部に取り付けられている振動片と、
を備え、
前記支持部における延出方向は、
第１方向の成分および前記第１方向と反対側の方向の成分と、
前記第１方向と直交関係にある第２方向の成分および前記第２方向と反対側の方向の成分と、
前記第１方向および前記第２方向と直交関係にある第３方向の成分と、
を含む、振動子。
【請求項２】
請求項１において、
前記支持部は、
一端側が前記基板に支持され、前記第１方向に沿った成分を有するように延出している第１梁部と、
前記第１梁部の他端側から前記第２方向に沿った成分を有するように延出している第２梁部と、
前記第２梁部の先端側から前記第１梁部と並ぶように前記第１方向と反対側の方向に沿った成分を有するように延出している第３梁部と、
前記第３梁部の先端側から前記第２梁部と並ぶように前記第２方向と反対側の方向に沿った成分を有するように延出している第４梁部と、

前記第４梁部の先端側と接続され、前記第３方向に沿った成分を有するように延出している第５梁部と、
を含む、振動子。
【請求項３】
請求項２において、
前記支持部は、
前記第４梁部の先端側から前記第１梁部と並ぶように前記第１の方向と反対側の方向に沿った成分を有するように延出し、先端側が前記第５梁部と接続されている第６梁部と、
前記第５梁部の先端側から前記第１方向および前記第２方向を含む平面に沿って延出している第７梁部と、
を含み、
前記振動片は、前記第７梁部に支持されている、振動子。
【請求項４】
請求項１ないし３のいずれか１項において、
一対の前記支持部は、平面視で回転対称の位置関係にある、振動子。
【請求項５】
請求項１ないし４のいずれか１項において、
一対の前記支持部は、枠部に接続され、
前記枠部の内側に、一対の前記支持部が配置されている、振動子。
【請求項６】
請求項５において、
前記枠部の少なくとも一部は、前記基板に取り付けられ、
一対の前記支持部は、前記枠部を介して、前記基板に支持されている、振動子。
【請求項７】
請求項１ないし６のいずれか１項において、
一対の前記支持部は、樹脂層に導電層を形成して構成されている、振動子。
【請求項８】
請求項１ないし７のいずれか１項に記載の振動子と、
前記振動子に電気的に接続されている回路素子と、
を備えている、発振器。
【請求項９】
請求項８において、
加熱素子を備えている、発振器。
【請求項１０】
請求項９において、
前記加熱素子は、トランジスターである、発振器。
【請求項１１】
請求項１ないし７のいずれか１項に記載の振動子を備えている、電子機器。
【請求項１２】
請求項１ないし７のいずれか１項に記載の振動子を備えている、移動体。